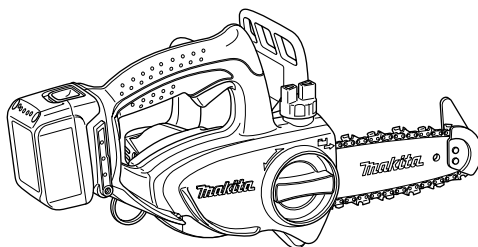
ヒューマンハードウェアのマキタ
人の暮らしとすまいのために……

取扱説明書

充電式
チェンソー

モデル UC121D
モデル UC122D

このたびは**充電式チェンソー**をお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。
ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本機の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただいて、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願いいたします。
なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。

主要機能

<table>
<tr><td colspan="2">モデル
主要機能</td><td>UC121D</td><td>UC122D</td></tr>
<tr><td colspan="2">電動機</td><td colspan="2">直流マグネットモータ</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">バッテリ</td><td colspan="2">リチウムイオンバッテリ</td></tr>
<tr><td>バッテリ BL1430
(容量 3.0Ah)</td><td>バッテリ BL1830
(容量 3.0Ah)</td></tr>
<tr><td colspan="2">電圧</td><td>直流 14.4V</td><td>直流 18V</td></tr>
<tr><td colspan="2">※ 1 充電あたりの作業量（本）</td><td>Φ50mm の杉
約 140 本</td><td>Φ50mm の杉
約 190 本</td></tr>
<tr><td colspan="2">チェーンスピード</td><td>4.8m/ 秒 (290m/ 分)</td><td>5.0m/ 秒 (300m/ 分)</td></tr>
<tr><td rowspan="3">チェーン
オイル</td><td>使用オイル</td><td colspan="2">マキタチェーン専用オイル
または市販のチェーンオイル</td></tr>
<tr><td>タンク容量</td><td colspan="2">0.08L</td></tr>
<tr><td>給油方式</td><td colspan="2">自動</td></tr>
<tr><td rowspan="6">切断部</td><td>チェーン刃タイプ</td><td colspan="2">オレゴン 25AP</td></tr>
<tr><td>チェーン刃ピッチ
(インチ)</td><td colspan="2">1/4</td></tr>
<tr><td>チェーン刃ゲージ
(インチ)</td><td colspan="2">0.050</td></tr>
<tr><td>チェーン刃ドライブ
リンク数（枚）</td><td colspan="2">42</td></tr>
<tr><td>ガイドバー長さ
(mm)</td><td colspan="2">115</td></tr>
<tr><td>ガイドバーゲージ
(インチ)</td><td colspan="2">0.050</td></tr>
<tr><td colspan="2">本機寸法</td><td colspan="2">長さ 422mm ×幅 195mm ×高さ 215mm</td></tr>
<tr><td colspan="2">質量（バッテリ含む）</td><td>2.4kg</td><td>2.5kg</td></tr>
<tr><td colspan="2">振動 3 軸合成値</td><td>4.2m/s²</td><td>4.3m/s²</td></tr>
</table>

・ 振動 3 軸合成値は、EN60745-2-13 規格に基づき測定。
・ 振動 3 軸合成値についての詳細は JEMA〔(社) 日本電機工業会〕ウェブサイト：(http://www.jema-net.or.jp/Japanese/pis/powertool.html) をご参照ください。

急速充電器	DC18RC
入力電圧	単相交流 100V
入力周波数	50-60Hz
入力容量	410VA
出力電圧	直流 7.2-18V
出力電流	直流 9A

・ 改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

※ 数値は参考値です。材料の状態、チェーンブレードの状態により異なります。

注意文の ⚠警告 ・ ⚠注意 ・ 注 の意味について

ご使用上の注意事項は ⚠警告 と ⚠注意 ・ 注 に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

⚠警告 ： 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠注意 ： 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。
なお ⚠注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

注 ： 製品および付属品の取り扱い等に関する重要なご注意。

安全上のご注意

JPA002-37

・ 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、「安全上のご注意」を必ず守ってください。
・ ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、正しく使用してください。
・ お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
・ 他の人に貸し出す場合は、いっしょに取扱説明書もお渡しください。

⚠警告

安全作業のために：
ご使用前に取扱説明書を必ずよくお読みください。

1. **マキタ専用の指定のバッテリ以外を使わないでください。**
・ 改造したバッテリ(分解してセルなどの内蔵部品を交換したバッテリを含む)を使用しないでください。工具本体の性能や安全性等も損なう恐れがあり、けがや故障、発煙、発熱、発火、破裂などの原因になります。
2. **バッテリは、火への投入、加熱をしないでください。**
・ 発熱、発火、破裂の恐れがあります。
3. **バッテリに釘を刺したり、衝撃を与えたり、分解・改造をしないでください。**
・ 発熱、発火、破裂の恐れがあります。
4. **バッテリの端子部を金属などで接触させないでください。**
・ バッテリを金属と一緒に工具箱や釘袋などに保管しないでください。発熱、発火、破裂の恐れがあります。
・ 本機または充電器からはずした後は、バッテリにバッテリカバーを必ず取り付けてください。
5. **バッテリを火のそばや炎天下など高温の場所で充電・使用・保管しないでください。**
・ 発熱・発火・破裂の恐れがあります。
6. **バッテリは専用充電器以外では充電しないでください。**
・ バッテリの液漏れ、発熱、破裂の恐れがあります。
7. **正しく充電してください。**
・ 充電器は定格表示してある電源で使用してください。昇圧器などのトランス類を使用したり直流電源やエンジン発電機では使用しないでください。(当社インバータ制御付エンジン発電機は除く) 異常に発熱し、火災の恐れがあります。
・ 周囲温度が１０℃未満、または周囲温度が４０℃以上ではバッテリを充電しないでください。破裂や火災の恐れがあります。
・ バッテリは、換気の良い場所で充電してください。バッテリや充電器を充電中、布などで覆わないでください。破裂や火災の恐れがあります。
・ 使用しない場合は、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。破裂や火災の恐れがあります。
8. **ぬれた手で電源プラグに触れないでください。**
・ 感電の恐れがあります。

⚠警告

9. 作業場の周囲状況も考慮してください。
・ 充電工具、充電器、バッテリは、雨中で使用したり、湿った、またはぬれた場所で使用しないでください。感電や発煙の恐れがあります。
・ 作業場は十分に明るくしてください。暗い場所での作業は事故の恐れがあります。
・ 可燃性の液体やガスのある所で使用、充電しないでください。爆発や火災の恐れがあります。

10. 保護めがねを使用してください。
・ 作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。

11. 防音用保護具を着用してください。
・ 騒音の大きい作業では、耳栓、耳覆い（イヤマフ）などの防音用保護具を着用してください。

12. 材料を加工する工具では、材料をしっかりと固定してください。
・ 材料を固定するために、クランプや万力を使用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。（材料を動かして加工する製品を除く。）

13. 次の場合は、充電工具のスイッチを切り、バッテリを本機から抜いてください。
・ 使用しない、または修理する場合。
・ 刃物（刈刃）、ビットなどの付属品を交換する場合。
・ その他危険が予想される場合。

14. 不意な始動は避けてください。
・ スイッチに指を掛けて運ばないでください。
・ バッテリをさし込む前に、スイッチが切れていることを確認してください。

15. 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。
・ この取扱説明書、および当社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものは使用しないでください。

16. バッテリの液が目に入ったら、直ちにきれいな水で十分洗い、医師の治療を受けてください。

17. 使用時間が極端に短くなったバッテリは使用しないでください。

18. 落としたり、何らかの損傷を受けたバッテリは使用しないでください。

19. ご使用済みのバッテリは一般家庭ゴミとして棄てないでください。
・ 棄てられたバッテリがゴミ収集車内などで破壊されてショートし、発火・発煙の原因になる恐れがあります。

20. ラッカー、ペイント、ベンジン、シンナー、ガソリン、ガス、接着剤などのある場所では充電しないでください。
・ 爆発や火災の恐れがあります。

21. 火災の恐れがあります。次のようなことをしないでください。
・ ダンボールなどの紙類、座布団などの布類、畳、カーペット、ビニール等の上では充電しないでください。
・ 風窓のある充電器は、充電中に風窓をふさがないでください。また風窓に金属類、燃えやすい物を差し込まないでください。
・ 綿ぼこりなど、ほこりの多い場所で充電しないでください。

22. 充電器のバッテリ装着部には充電用端子があります。金属片・水などの異物を近づけないでください。
・ そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。

23. 充電器は充電以外の用途には使用しないでください。

⚠注意

1. **作業場は、いつもきれいに保ってください。**
- ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。
2. **子供を近付けないでください。**
- 作業者以外、充電工具や充電器のコードに触れさせないでください。
- 作業者以外、作業場へ近付けないでください。
3. **使用しない場合は、きちんと保管してください。**
- 乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所、または鍵のかかる所に保管してください。事故の恐れがあります。
- バッテリを、周囲温度が５０℃以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内等）に保管しないでください。バッテリ劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。
4. **無理して使用しないでください。**
- 安全に能率よく作業するために、充電工具の能力に合った速さで作業してください。
- モータがロックするような無理な使い方はしないでください。
5. **作業に合った充電工具を使用してください。**
- 小型の充電工具やアタッチメントは、大型の充電工具で行う作業には使用しないでください。
- 指定された用途以外に使用しないでください。
6. **きちんとした服装で作業してください。**
- だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので、着用しないでください。
- 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をおすすめします。
- 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
7. **充電工具は、注意深く手入れをしてください。**
- 安全に能率よく作業していただくために、刃物（刈刃）類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
- 付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
- 充電器のコードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
- 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
- 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。
8. **充電器のコードを乱暴に扱わないでください。**
- コードを持って充電器を運んだり、コードを引っ張って電源コンセントから抜いたりしないでください。
- コードを熱、油、薬品、角のある所に近づけないでください。
- コードが踏まれたり、引っかけられたり、無理な力を受けて損傷することがないように充電する場所に注意してください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
- 電源プラグやコードが損傷した充電器や、落としたり、何らかの損傷を受けた充電器は使用しないでください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。

⚠注意

9. 無理な姿勢で作業をしないでください。

・ 常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。

10. 調節キーやレンチなどは、必ず取りはずしてください。

・ スイッチを入れる前に、調節に用いたキーやレンチなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。

11. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。

・ 屋外で充電する場合、キャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

12. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。

・ 充電工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
・ 疲れている場合は、使用しないでください。

13. 損傷した部品がないか点検してください。

・ 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
・ 可動部分の位置調整、および締め付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響をおよぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
・ 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書に従ってください。取扱説明書に記載されていない場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
・ スイッチで始動、および停止操作の出来ない充電工具は、使用しないでください。

14. 充電工具の修理は、専門店にお申し付けください。

・ 本体、充電器、バッテリを分解、修理、改造は行なわないでください。発火したり、異常動作して、けがをする恐れがあります。
・ 本体が熱くなったり、異常に気付いた時は点検・修理に出してください。
・ 本製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
・ 修理は、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
・ 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの恐れがあります。

15. 充電中、発熱などの異常に気が付いたときは、直ちに電源プラグを抜いて充電を中止してください。そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。

この取扱説明書は、大切に保管してください。

●騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制がありますので、ご近所などの周囲に迷惑をかけないようにご使用ください。

充電式チェンソー安全上のご注意

先に充電工具としての共通の注意事項を述べましたが、充電式チェンソーとして、さらに次の注意事項を守ってください。

JPB100-9

⚠警告

1. 本機を雨中や湿気の多いところで使用したり、放置しないでください。
・ 故障や感電、けがの原因になります。
2. 使用中は、両手で確実にハンドルを保持してください。
・ 本機がはね返り、けがの原因となります。
3. チェーン刃は取扱説明書に従って正しく取り付けてください。
・ 誤った取り付け方をしますと、ガイドバーからチェーン刃がはずれ、けがの原因になります。
4. はしごや木に登って作業するなど、不安定な姿勢で使用しないでください。
・ けがの原因になります。
5. 肩の高さより高い位置で使用しないでください。
・ けがの原因になります。
6. ガイドバーの先端部での切断はしないでください。また、ガイドバーの先端部を枝や地面などに触れさせないように作業してください。
・ 本機が跳ね返り（キックバック）けがの原因になります。
7. 使用中は、チェーン刃、ガイドバーや回転部に手や顔などを近づけないでください。
・ けがの原因になります。
8. 使用中、本機の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店、または当社営業所に点検・修理をお申し付けください。
・ そのまま使用していると、けがの原因になります。
9. 誤って落としたり、ぶつけたときは、チェーン刃、ガイドバーや本機などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
・ 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
10. 〔事業者の方へ〕本機を使用して伐採、造材などの作業を行う場合は、法・規則で定める特別教育を受けた人に行わせてください。

関連法令	労働安全衛生法	第５９条第３項
	安全衛生特別教育規程	第１０条の２
	労働安全衛生規則	第３６条第８号

⚠注意

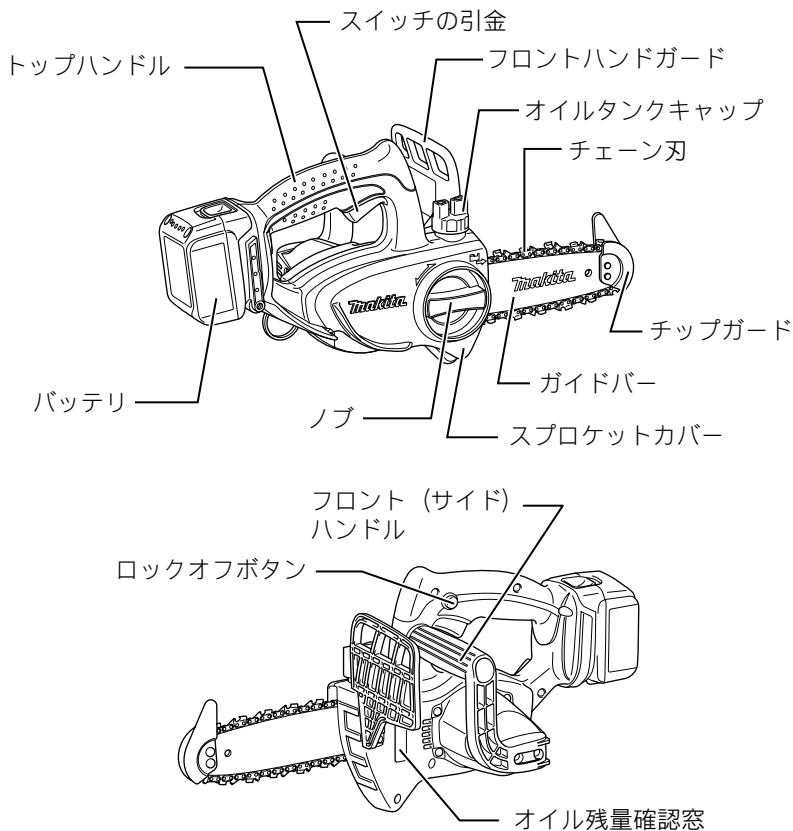
1. 使用しないときは、ガイドバーにカバーをし、刃物がむき出しにならないようにして、お子様の手の届かないところに保管してください。
・ けがの原因になります。
2. スイッチを入れるとき、チェーン刃が材料や他のものに当たっていないことを確認してください。
・ 本機が引っ張られたり戻されたりして、けがの原因になります。
3. 作業中は常に手袋、保護めがね、耳栓を使用し、履き物は滑りにくいものを着用してください。
・ けがの原因になります。
4. 材料に石、釘などの異物がないことを確かめてください。
・ 刃物が石などに当たると、けがの原因になります。
5. 切断材料は、しっかり固定してください。また切り落とし材に十分注意してください。
・ けがの原因になります。
6. 切り落とし寸前や切断中に材料の重みでガイドバーが材料に挟み込まれないように、切断する部分に近い位置を支える台を設けてください。
・ ガイドバーが挟みつけられると、けがの原因になります。
7. チェーンカバーが取り付いた状態で本機を起動しないでください。

注

・ 電源が離れていて延長コードが必要なときは、充電器を最高の能率で支障なくご使用いただくために十分な太さのコードをできるだけ短くお使いください。

使用できる延長コードの太さ（公称断面積）と長さの目安

コードの太さ（導体公称断面積）	コードの長さの目安
2.0mm^2	30m

各部の名称および標準付属品

製品の組み合わせ及び標準付属品

標準付属品 ＼ モデル	UC121DZ	UC122DZ	UC121DRF	UC122DRF
バッテリ	×		○バッテリ BL1430	○バッテリ BL1830
充電器 (充電時間)	×		DC18RC (約 22 分)	
丸ヤスリ	○		○	
チェーンカバー	○		○	
チェーンオイル	○		○	
プラスチックケース	×		○	
バッテリカバー	×		○	

別販売品のご紹介

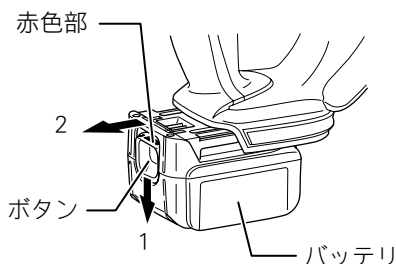
・ 別販売品の詳細につきましてはカタログを参照していただくか、お買い上げの販売店もしくは、当社営業所へお問い合わせください。

・ **チェーン刃**
  部品番号 A-19196
・ **ガイドバー**
  部品番号 158476-6
・ **デプスゲージジョインタ**
  部品番号 D953100090
・ **平ヤスリ**
  部品番号 D953003060
・ **丸ヤスリ**
  直径 4mm（ハンドル付）：部品番号 A-44024
  直径 4mm（ハンドルなし）：部品番号 D953003090
・ **ハンドル（ハンドルなしタイプの丸ヤスリ、平ヤスリ用）**
  部品番号 D953004010
・ **バッテリ BL1430（容量 3.0Ah）**
  部品番号 A-42634
・ **バッテリ BL1830（容量 3.0Ah）**
  部品番号 A-47896

使い方

バッテリの取り付け・取りはずし方

- バッテリを本機から取りはずす時は、
  1. バッテリ正面のボタンを引きながら
  2. スライドさせると取りはずせます。
- 取り付ける時は逆の要領で、本機の溝に合わせ、奥まで挿入してください。この際、ボタン上部の赤色部が見えている場合は完全にロックされていません。赤色部が見えなくなるまで、奥まで確実に挿入してください。

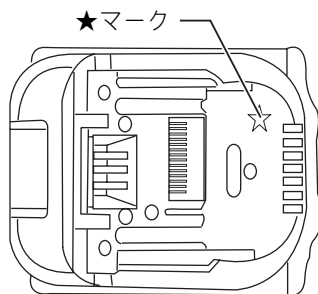
バッテリについて

- お買い上げ時は、バッテリは十分に充電されていません。（スイッチを操作すると本機は動くおそれがありますので注意してください。）ご使用前に急速充電器で正しく充電してからご使用ください。
- 使用しないときはバッテリカバーをかぶせてください。バッテリを水やほこりから保護するのに役立ちます。

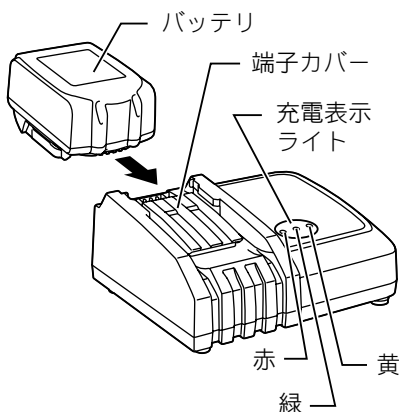
バッテリ保護機能

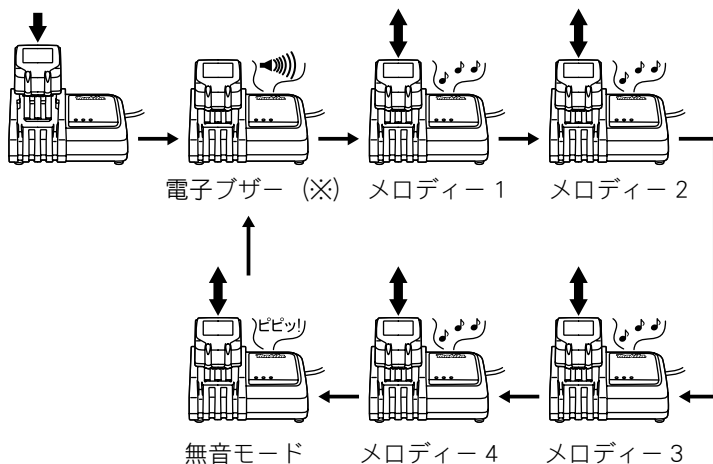
（★マーク付きバッテリを使用する場合）

バッテリ寿命を長くする目的で出力を自動停止する保護機能がついています。

本機を使用中、下記状態になりますとモータが自動停止しますが、これはバッテリの保護機能によるものであり故障ではありません。

- 本機が過負荷状態になるとモータが自動停止します。
  このときはいったんスイッチをはなし、本機よりバッテリを取りはずした後、過負荷の原因を取り除いてください。原因を取り除けば再びご使用になれます。
- バッテリの温度が高温になるとモータが自動停止します。スイッチを操作してもモータは停止したままです。
  このときはバッテリの使用を中断し、本機よりバッテリを取りはずし、バッテリを冷ますかまたは、充電してください。
- バッテリの容量が少なくなるとモータが自動停止します。スイッチを操作してもモータは停止したままです。
  このときは本機よりバッテリを取りはずし、バッテリを充電してください。

バッテリの充電方法

1. 急速充電器の電源プラグを 100V の電源コンセントに差し込んでください。充電表示ライトは「緑」の点滅を繰り返します。
2. バッテリを急速充電器の挿入ガイドにそって、一番奥まで入れてください。充電器の端子カバーはバッテリ挿入に伴い開閉します。
3. バッテリを挿入しますと充電表示ライトが「赤」に点灯し、現在設定されている充電完了メロディーが短時間流れ、充電を開始します。
   充電が完了すると「緑」の点灯に変わり、充電完了メロディーや電子ブザーが鳴ります。
   そのままバッテリを挿入しておけば、バッテリを冷却します。
   充電時間は周囲温度（10 ℃～ 40 ℃）やバッテリの状態（新品・長期保存バッテリや寿命に近いバッテリなど）により変動します。
4. バッテリを抜き取り、電源コンセントから急速充電器の電源プラグを抜いてください。

充電完了メロディーの切り替え方法

1. バッテリを充電器に差し込むと、現在設定（※）されている充電完了メロディーが短時間流れます。
2. この時、約 5 秒以内にバッテリを差し直すと充電完了メロディーが変わります。
3. 続けて約 5 秒以内にバッテリを差し直すたびに充電完了メロディーが順に変わります。
4. 設定したい充電完了メロディーが流れましたら、バッテリを挿入したままにすることで充電を開始します。
   「ピピッ！」と鳴るモードを選んだときは充電完了時に音がしません（無音モード）。
5. 充電が完了すると充電表示ライトが「緑」の点灯に変わり、バッテリ挿入時に設定した充電完了メロディーや電子ブザーが鳴ります。無音モードを選択した場合には完了時に音はしません。
6. 設定した充電完了メロディーは急速充電器の電源プラグを抜いても記憶されています。

（※）出荷時は電子ブザーに設定されています。

充電表示ライトについて

ライト表示	表示内容
○ 緑（点滅） ○	充電前「緑１個」点滅 電源に差し込んだ状態です。
赤（点滅） ○ ○	冷却中「赤１個」点滅 バッテリが高温です。冷却後、自動的に充電開始します。
赤 ○ ○ 赤 緑 ○	充電中「赤１個」点灯 バッテリ容量約0〜80％を示します。 充電中「赤１個・緑１個」点灯 バッテリ容量約80〜100％を示します。
○ 緑 ○	充電完了「緑１個」点灯　電子ブザーまたはメロディー
赤（点滅） 緑（点滅） ○	充電不可「赤・緑１個」交互点滅　電子ブザー バッテリ寿命またはゴミづまりで充電できません。
○ ○ 黄	オートメンテナンス「黄」点灯 バッテリ寿命低下防止のため充電時間が長くなります。
○ ○ 黄（点滅）	冷却システム異常「黄」点滅 冷却ファン故障または冷却不足です。

使い方

注

・ DC18RC はマキタバッテリ専用の充電器です。他の目的に使用しないでください。
・ 使用直後のバッテリや直射日光の当たる所に長時間放置したバッテリを充電されますと充電表示ライトが「赤」の点滅を繰り返す場合があります。
・ このようなときは、充電器内蔵の冷却ファンによりバッテリを冷却してから充電を開始します。
・ 充電開始後、充電表示ライトが「赤・緑」の交互点滅を繰り返し、電子ブザーが「ピッピッピッ」と約 20 秒間鳴った場合は、バッテリの寿命またはゴミ詰まりで充電できません。
・ バッテリを連続で充電される場合は、充電時間が長くなることがあります。
・ オートメンテナンス機能により、充電時間が周囲温度（10 ℃～ 40 ℃）やバッテリの状態に応じて変動します。
・ 充電完了後すぐに使用しない場合は、バッテリの冷却も行いますので、そのまま差し込んでおくことをおすすめします。
・ 次のような状態のときは、充電器またはバッテリに故障があると考えられますので、充電器とバッテリの両方を、お買い上げの販売店または当社営業所へお持ちください。
  × 充電器の電源プラグを 100V の電源コンセントに差し込んでも、表示ライトが「緑」に点滅しない。
  × バッテリを挿入しても、表示ライトが「赤」に点灯または点滅しない。
  × 充電開始後、表示ライトが「赤」に点灯した後、1 時間以上たっても充電が完了しない。（表示ライトが「緑」に変わらない）。

冷却システムについて

・ バッテリの性能を十分に発揮させるため、充電器内蔵の冷却ファンによりバッテリを効率良く冷却するシステムです。送風の音がしますが故障ではありません。
・ 冷却ファンが故障したり、充電器やバッテリのゴミづまりによって冷却不足となった場合、「黄」のライトが点滅し冷却システム異常をお知らせします。冷却システム異常の場合も充電を行いますが、充電時間が長くなることがあります。このような時は、充電器、バッテリの風穴がふさがれていないか、または送風の音がしないか、ご確認ください。
・ 充電中、送風の音がしない場合がありますが、「黄」のライトが点滅していなければ故障ではありません。冷却ファンを停止して充電することがあります。
・ 充電器、バッテリの風穴をふさがないでください。
・ 頻繁に「黄」のライトが点滅するようなときは、点検・修理をお申し付けください。

オートメンテナンス機能について

- オートメンテナンス機能は、バッテリの使用状態に応じて自動的にバッテリを長持ちさせるように最適な充電を行うことを特徴としています。
- 下記 1 ～ 4 の状態となった場合、特にバッテリ寿命が低下しやすい状況にあるため、充電中に「黄」のライトが点灯して充電時間が長くなることがあります。
  1 高温充電の繰り返し
  2 低温充電の繰り返し
  3 満充電バッテリの再充電の繰り返し
  4 過放電の繰り返し
  (過放電とは工具の力が弱くなってもさらに使用する状態です)

バッテリを長持ちさせるには

- 工具の力が弱くなってきたと感じたら使うのをやめ、充電してください。
- 満充電したバッテリを再度充電しないでください。
- 充電は周囲温度 10 ℃～ 40 ℃の範囲で行ってください。
- 使用直後などの熱くなったバッテリは、充電器に差し込んで冷却し充電することをおすすめします。

バッテリの回収について

- 使用済みバッテリはリサイクルのため回収しております。お買い上げの販売店または当社営業所へご持参ください。

**リチウムイオンバッテリは
リサイクルへ**

充電器の点検・修理・保管について

- いつも安全に能率よくお使いいただくために定期点検をおすすめします。
- 修理・点検はお買い上げの販売店または当社営業所にお申し付けください。
- 充電器の保管場所として次のような場所は避けてください。
  × お子様の手が届いたり、簡単に持ち出せる所
  × 温度や湿度の急変する所
  × 湿気の多い所
  × 直射日光の当たる所
  × 揮発性物質の置いてある所

チェーン刃の取り付け・取りはずし方

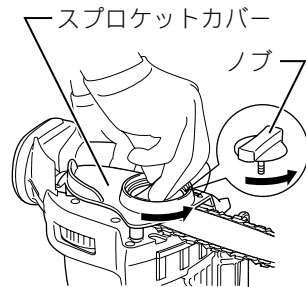
⚠ 警告

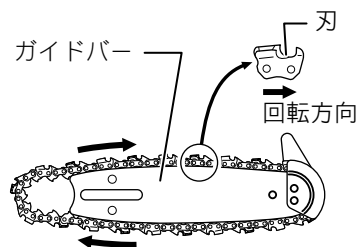
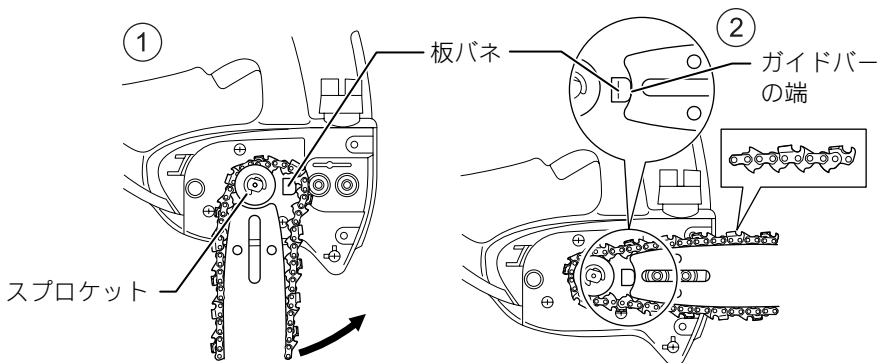
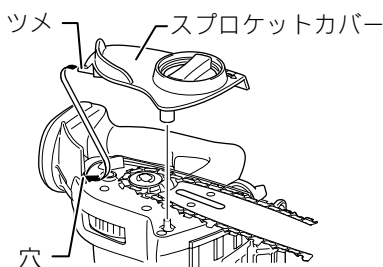
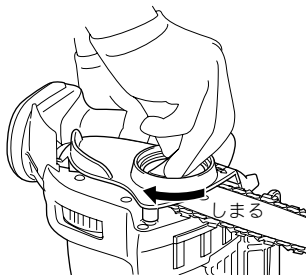
チェーン刃の取り付け・取りはずしの際は必ずスイッチを切り、本機よりバッテリを抜いてください。
- バッテリを本機に差し込んだまま行うと、事故の原因になります。

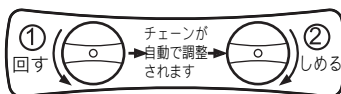
⚠ 注意

チェーン刃の取り付け・取りはずしの際は必ず手袋をはめて行ってください。
- けがの原因になります。

チェーン刃の取りはずし方

- ノブを左へ回し、スプロケットカバーがはずれるまでネジを緩めます。
- スプロケットカバーを取りはずします。
- チェーン刃、ガイドバーを本機より取りはずします。

チェーン刃の取り付け方

- ガイドバーにチェーン刃を取り付けます。その際、チェーン刃は矢印方向に回転しますので、チェーン刃の方向を図のようにセットします。

・ 図のように板バネをチェーン刃の内側に入れてチェーン刃をスプロケットにはめます。(①)
・ ガイドバーを左へ回しながら、ガイドバーの端と板バネが当たるように取り付けます。(②)

・ スプロケットカバー後部のツメを本機の穴に引っ掛けてからスプロケットカバーをかぶせます。

・ ノブを右に回してネジをしっかり締めてください。

チェーン刃の調整

・ ノブを少しゆるめるだけでチェーン刃の張りが調整されますので、再度しっかり締め直してください。

使い方

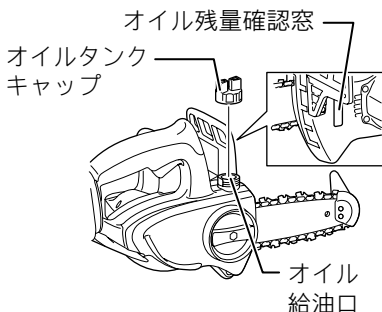
注

- チェーン刃が新しい間は伸びがちですので、時々調整してください。
- 張り方がゆるいときは、チェーン刃がガイドバーからはずれる原因となります。
- チェーン刃の取り付け、取りはずしの際は、切り屑などのないきれいな場所で行ってください。

チェーンオイルについて

⚠ 注意

チェーンオイルを給油する時は、必ずバッテリをはずして行ってください。
- 事故の原因になります。

- チェーンオイルはチェンソーを運転すると自動的に給油されます。
- オイル残量確認窓にてオイルタンク内のチェーンオイル量を確認します。
- チェーンオイルの補充はオイル給油口のキャップを取りはずして入れます。容量は約 80mL です。
- オイル給油後は、必ず付属のオイルタンクキャップを取り付けてください。

注

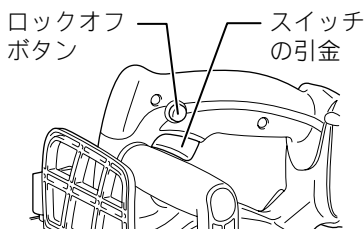
- はじめてお使いになるときは、チェーンオイルをオイルタンク一杯に入れてください。
- チェーンオイルは、マキタチェンソー専用オイルまたは市販のチェンソーオイルをご使用ください。
- ゴミなどの混入したオイルおよび揮発性のオイルは絶対使用しないでください。
- 切断作業をする前に付属のオイルタンクキャップが取り付けられていることを確認してください。

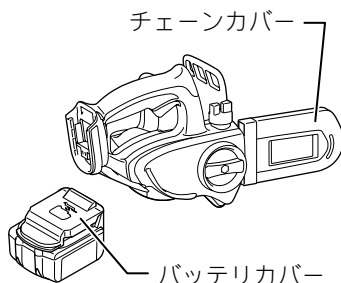
スイッチの操作

⚠警告

本機にバッテリを差し込む前に、スイッチが切れていることを必ず確認してください。

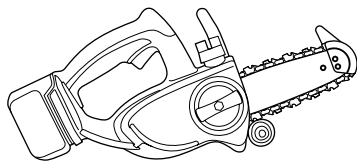
・ スイッチを入れたままバッテリを差し込むと急に回りだし、事故の原因になります。

・ スイッチはロックオフボタンを押し込んだ状態で引金を引けば入り、離すと切れます。スイッチの引金を離すと自動的にロックオフ機構が働き、スイッチが入らない状態になります。

チェンソーの持ち運び方

・ チェンソーを持ち運ぶときは、必ずバッテリをはずし、チェーンカバーをガイドバーにかぶせてください。バッテリにはバッテリカバーをはめてください。

切断作業

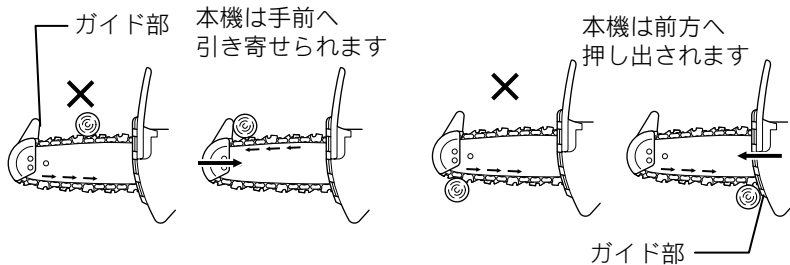
⚠ 警告
使用中は、チェーン刃、ガイドバーや回転部に手や顔などを近づけないでください。 ・　けがの原因になります。 **使用中は、両手で確実にハンドルを保持してください。** ・　けがの原因になります。 **はしごや木に登って作業するなど、不安定な姿勢で使用しないでください。** ・　けがの原因になります。 **(事業者の方へ)** **本機を使用して伐採、造材などの作業を行う場合は、法、規則で定める特別教育を受けた人に行わせてください。** (関連法令) 労働安全衛生法第 59 条第 3 項 安全衛生特別教育規程第 10 条の 2 労働安全衛生規則第 36 条第 8 号の 2

⚠ 注意
切断材料は、しっかり固定してください。また切り落とし材に十分注意してください。 ・　けがの原因になります。 **2 台以上で作業するときは、安全な距離をおいてください。** ・　事故の原因になります。

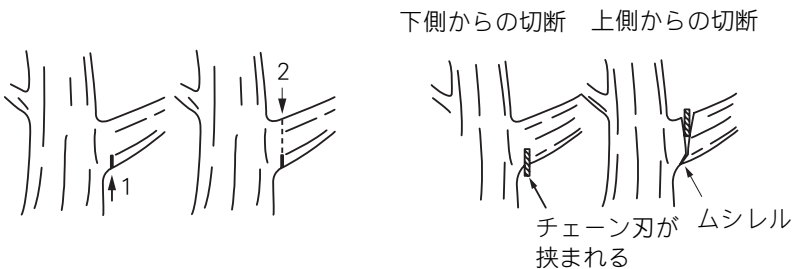
- チェーン刃を木材より離してスイッチを入れ、チェーンオイルが十分にチェーン刃に付着してから切断作業に入ります。
- 本機を木材に当てて、そのまま真下へ押して切断します。
- 本機前部を木材に当てて切断すると、本機が安定します。

注

- **本機に無理な力を加えないでください。**

樹木の剪定

・ ガイド部に枝を軽く押し付け、チェーン刃を枝より離してスイッチを入れ枝を切断します。

注

・ ガイド部に枝が接していないと本機がガイド側に引っ張られ、刃先がブレますので注意してください。

・ 太い枝を剪定する時は、枝の下側に切り込みを入れてから上から枝を切断します。

注

・ 枝を下側から切り上げていきますと、枝の重みで切り口が狭まり、チェーン刃が枝に挟まれて取れなくなります。また、下側に切り込みを入れずに上側から枝を切断すると、ムシレて仕上がり面が悪くなります。

保守・点検について

⚠警告

点検・整備の際には必ずスイッチを切り、バッテリを本機から抜いてください。

・　バッテリを本機につないだまま行うと、感電や事故の原因になります。

⚠注意

点検・整備の際には必ず手袋をはめて行ってください。

・　チェーン刃に手がふれ、けがの原因になります。

チェーン刃の目立て

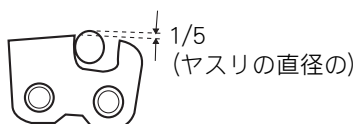
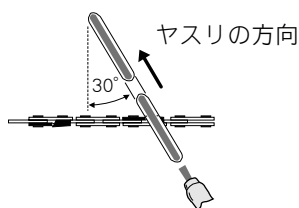
⚠警告

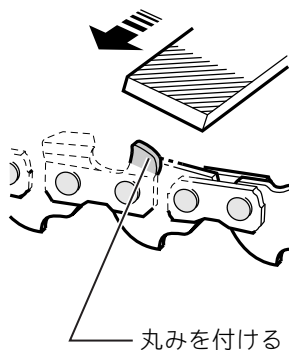
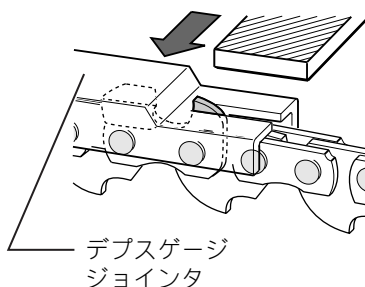
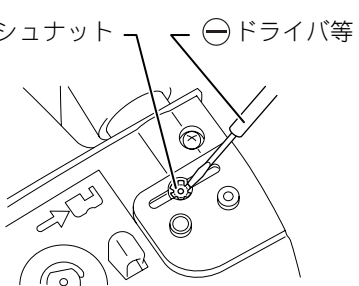
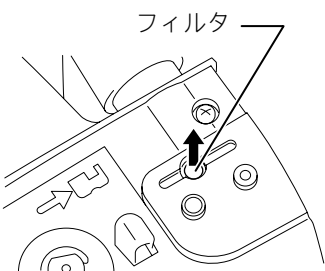
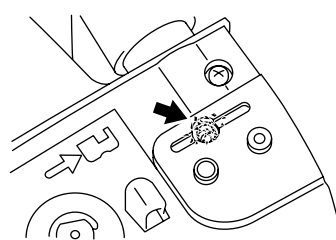
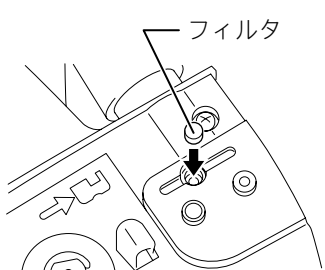
チェーン刃は正しく目立てしてください。

・　特にデプスゲージ寸法が大きくなり過ぎますと、チェーン刃が切れやすくなり、けがの原因になります。

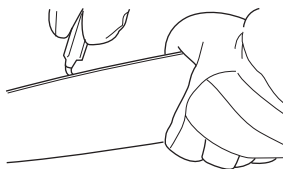
1. 上刃および横刃の目立て

・　ガイドバーに対して丸ヤスリを 30° 傾け、丸ヤスリの直径の 1/5 が上刃よりでるようにチェーン刃に当ててください。

・　丸ヤスリの水平を保って、押すときだけヤスリをかけ、手前に引くときは刃部にヤスリを当てないようにして、上刃および横刃の目立てをしてください。

2. デプスゲージの調整方法

- デプスゲージはチェーン刃の切り込みしろを適正（0.64mm）に保つためのものです。
- デプスゲージジョインタ（別販売品）を図のようにセットし、溝から出た部分を平ヤスリで削り落とします。
- デプスゲージの角に丸味を付けてください。
- デプスゲージの調整が終りましたら、オイルに浸して切り粉を洗い落としてください。

注

- **刃部の目立てには、外径が 4mm （呼び 5/32″）の目立て専用丸ヤスリを使用してください。**

ガイドバーの清掃

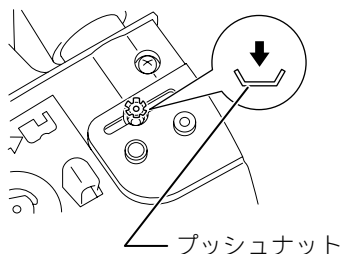
- ご使用中に、切り屑がガイドバーにつまることがあります。切り屑がガイドバーの溝につまりますと、チェーンオイルがチェーン刃全体に行き渡らなくなります。チェーン刃を目立てや交換するときに、ガイドバーの溝に入った切り屑を除去してください。

オイル吐出口のフィルタ清掃

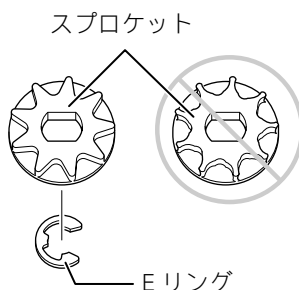
- ご使用中に細かなゴミが吐出口のフィルタにつまることがあります。
- ゴミがフィルタにつまるとチェーンオイルの吐出量が少なくなりチェーンオイルがチェーン刃全体に行き渡らなくなるおそれがあります。
- ガイドバー先端からのチェーンオイルの吐出が少なくなった場合は下記手順でフィルタの清掃をしてください。
- バッテリを本機から抜いてください。
- スプロケットカバー、チェーン刃を取りはずしてください。(P18 チェーン刃の取りはずし方の項目参照)
- 先端の細い⊖ドライバ等でプッシュナットを取りはずしてください。

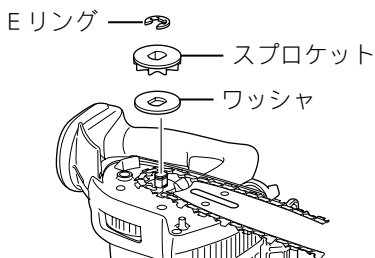
- フィルタを本機より取り出してフィルタについているゴミを取り除いてください。
- バッテリを本機に差し込んでください。

- 本機のスイッチの引金を引いて本機のオイル吐出口に溜まっている細かなゴミをチェーンオイルで洗い流してください。
- バッテリを本機から抜いてください。

- 清掃したフィルタを本機に挿入してください。フィルタのよごれがひどい場合はフィルタを新品に交換してください。
- プッシュナットを本機に挿入してフィルタを固定してください。

・ プッシュナットは図の向きで挿入します。
・ プッシュナットが変形してフィルタの固定ができない場合はプッシュナットを新品に交換してください。
・ スプロケットカバー、チェーン刃を取り付けてください。

スプロケットの交換

・ チェーン刃を交換するときにはスプロケットの状態を確認してください。
・ スプロケットの状態がイラストのように磨耗している場合、スプロケットを新品と交換してください。

注

・ **スプロケットは向きに注意して組み付けてください。**
・ スプロケットを交換するときには必ず新品のE リングを使用してください。

本機の保管

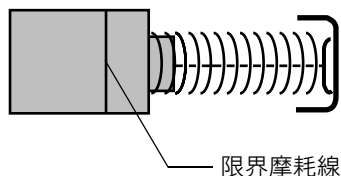
・ スプロケットカバーを取りはずし、本機に付着した切り屑を除去してください。
・ チェーン刃、ガイドバーを取り付け、しばらく空転させ、チェーン刃、ガイドバーにオイルを付着させてください。
・ チェーンカバーをガイドバーにかぶせてください。
・ オイルタンク内のオイルを抜いてタンク内を空にして、タンクキャップが上側になるように本機を置いて保管してください。

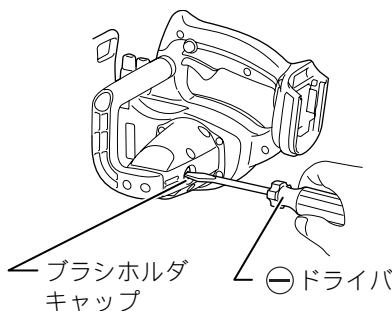
保守・点検について

カーボンブラシの点検および交換

⚠警告
点検・整備の際には必ずスイッチを切り、本機よりバッテリを抜いてください。
・　バッテリを本機に差し込んだまま行うと、事故の原因になります。

カーボンブラシの点検

・ カーボンブラシは定期的に取りはずして点検してください。
・ カーボンブラシが限界摩耗線まで摩耗したら新品と取り替えてください。このとき、カーボンブラシがブラシホルダ内で前後にスムーズに動くか確認してください。

カーボンブラシの交換

・ ⊖ドライバでブラシホルダキャップを取りはずしてください。
・ 中から摩耗したカーボンブラシを取り出し、新品と取り替えて、ブラシホルダキャップを組み付けてください。
・ カーボンブラシは２個で１組になっております。取り替えるときは、必ず両側とも同時に行ってください。このとき、カーボンブラシがブラシホルダ内で前後にスムーズに動くか確認してください。

注

・ **新品と交換する際は、必ず当社指定のカーボンブラシをご使用ください。指定以外のカーボンブラシを使用しますとブレーキがかからないことがあります。**

保守・点検について

本機のお手入れ

・　乾いた布か石けん水を付けた布できれいに拭いてください。

注

・ ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコール等は変色、変形、ひび割れの原因となりますので使用しないでください。

ご修理の際は

・　修理はご自分でなさらないで、必ずお買い上げの販売店または当社営業所にお申し付けください。